



殿一小だより

発行 枚方市立殿山第一小学校 校長 野村 勝

笑顔であいさつ一中学校区



第10号 令和3年 12月24日

現在の児童数 370名

2学期を終えて



師走に入りあわただしく日々が過ぎ、本年も残すところ1週間となりました。学校では本日無事、2学期終業式を迎えられましたことに安堵の気持ちでいっぱいです。この間、学期末個人懇談会や、学校教育自己診断、授業アンケート等にご協力いただきありがとうございました。ご意見を参考に次年度に向け学校改善に活かしたいと思います。さて、2学期を振り返って

みますと9月初めは臨時休校になるなど新型コロナウイルスの感染拡大を心配しました。しかし、その後急速に全国的に感染者が減少し、緊急事態宣言が解除され10月からはほぼ通常の学校運営ができるようになりました。10月以降運動会や遠足、5年生宿泊学習や6年生修学旅行などの行事を実施し、ようやく子どもたちの元気や、たくさん笑顔に触れる機会が増えてきたことはうれしいかぎりでした。

このコロナ禍、教育活動に制限のかかることが多かった半面、大きく変化したこともあります。第一に、タブレット型パソコンの導入です。昨年度はうまく使いこなせるのかと心配していましたが、先生方は授業等で積極的に毎日のように活用を図り、今ではないと困るほどの必需品になっています。子どもたちの活用能力もおどろくほどの速さで伸びていますが、一方で個人情報の管理や活用モラルなど徹底を図らなければいけない課題もあります。そこで、子どもたちを見守る視点で学校から2つお願いします。①保護者の皆様がパスワードを把握し、出欠・体調の連絡や配付文書の確認など、学校教育に関わって日常的にタブレットの活用を図る。②各ご家庭で使用時間などルールを決める。

第二にコロナ禍は今まであたりまえにやってきたことを見直す大きなきっかけになったことです。学校では行事や日課の見直し、授業、会議、懇談等のオンライン化、アンケートやお便り、お知らせ等の配信化です。コロナがなければこれらの改革はもっと先送りになっていたことと思います。今後も「災い転じて福となす」の精神で柔軟にがんばりたいと思います。

最後に、オミクロン株の発生で、まだまだコロナに対する警戒を続けなければならない状況ではありますが感染症や交通安全等に気をつけて楽しい冬休みをお過ごしください。来年は皆さんに福が来ますように！



冬休みに向けて！

本日、2学期の児童の学習等を評価した「あゆみ」を配付しました。子どもたち全員の所見を読んで、コロナ禍ではありますが2学期の勉強や行事、クラス活動など学校での取組について頑張る様子が目に浮かびました。ご家庭でも2学期、子どもたちが頑張ったことを思いっきり褒めてあげてください。また「もう少し頑張れたな。」「失敗したな。」「と思うことは3学期に向け目標を決め、取り組むよう話し下さい。失敗することで考えが深まることもたくさんあり、「失敗は成功のもと」とも言います。3学期の子どもたちの頑張りに期待しています。明日から子どもたちは冬休みに入ります。冬休みはクリスマスやお正月など、子どもたちにとって待ち遠しいイベントがやってきます。年末、年始は家族とゆっくりと過ごす機会である反面、生活が乱れやすくなる時期でもあります。冬休みの過ごし方について各クラスや終業式で伝えていますが、ご家庭でも配付しました「冬休みの暮らし」をお子様といっしょにお読みいただき確認をお願いします。

5年生で「お薬教室」を開催！



12月20日（月）5年生で学校薬剤師の先生より「お薬教室」を開催していただきました。先生からは「薬の飲み方」と「お酒やたばこの害」についてお話をしていただきました。「薬の飲み方」では、処方箋通りに決められた時間や量を守り飲むこと、また、薬は水で飲むことが大切で、決められたとおりに飲まないとお薬が効き目がなかったり、害になったり

する可能性があることを学びました。「お酒やたばこの害」では、成長期にある子どもがお酒を飲んだりたばこを吸うと、依存性が高くやめられなくなることや脳の発達や肺等の体の機能に著しく悪影響があること、また、煙の出ないたばこでも、有害物質を出していて安全ではないことなどについて学びました。画像や実験を通じて、分かりやすく教えていただき、子どもたちも集中して話を聴くことができました。



ひまわり学級でクリスマス会を開催



ハンドベルの演奏

12月17日（金）ひまわり学級の1年生から6年生全員でクリスマス会を開催しました。始めに各学年で作成したビデオ作品を見ました。1年生は「絵描きクイズ」、2年生は「ハンドベルできよしこの夜の演奏」、3年生は「ニュース劇」、4年生は「マジックショー ひまわり」、5年生は「マキノ高原宿泊学習の

報告」、6年生は「クリスマスクイズ」と各学年でそれぞれ内容や役割を決め、練習を重ね、ビデオで撮影しました。どの作品も演技やナレーション等がとても上手で、面白かったり、感心したりと素晴らしい作品に仕上がりました。作品を見終わったあと、どこからともなくサンタさんが登場し、一人一人の児童がカードとプレゼントを受け取りました。



プレゼントをもらいました！

マダガスカルからの授業



12月21日（火）マダガスカル通信でおなじみの長谷川先生（今年度JICA青年海外協力隊でマダガスカルへ）より赴任地のアンズブルベの自宅からiPadのzoomを活用し6年生に授業を行っていただきました。現地ではもう夏休みに入っていて、長谷川先生は半そで姿でとても元気そうでした。始めにマダガスカル

の位置（アフリカの南東部にある島）や日本との面積の比較（マダガスカルの方が広い）みんなが歌で名前を知っている現地の動物（アイアイ）についてクイズ形式で教えていただきました。その後授業のテーマであるマダガスカルのたばこ事情について学びました。平均月収が3千円に対しタバコ一箱が130円ととても高いこと、識字率が40%ほどで、タバコの箱に書いてある体に有害であることが読めない人が多いことなどを踏まえ、「どのようにしてマダガスカルの人々にタバコの危険性を知らせたらよいのか」について一人一人が考え話し合いをし発表しました。音声はクリアで海外にいても簡単に2クラス同時にオンライン授業ができることに驚かされました。今後も交流を深められたらと思います。



児童作品紹介



1年 ごちそうパーティを始めよう



3年 モチモチの木

5年 伝言板



2年
ちぎり絵



2年
ゆうやけ
こやけ



4年 不思議な花

6年 学校を描こう

